

沖縄-東海ヨットレース2026

- 【期 間】 2026年4月25日(土)～5月8日(金)
【開催地】 沖縄県島尻郡与那原町～愛知県蒲郡市
【共同主催】 (公財)日本セーリング連盟(予定)、JSAF外洋東海
【後 援】 国土交通省、海上保安庁、スポーツ庁、沖縄県、愛知県、与那原町、
蒲郡市、(公財)沖縄県スポーツ協会、NHK沖縄放送局、
琉球放送(株)、沖縄タイムス社、琉球新報社(以上予定)
【協 力】 JSAF外洋沖縄、与那原マリーナ、(株)ラグナマリーナ、
ラグナマリーナヨットクラブ

【レース公示】

1. 適用規則

- 1.1 『セーリング競技規則』(2025-2028)(RRS)
- 1.2 海上における衝突の予防のための国際規則(IRPCAS)
(日没から日出までRRS第2章に代えて適用する。公式の日没および日出時刻は、帆走指示書に記載する。)
- 1.3 外洋特別規定2026-2027
- 1.4 IRCRules2026PartA,PartB,PartC及び日本セーリング連盟IRC規定
ただしクルー人数・体重制限(IRC規則22.4.2)は適用しない。
- 1.5 RRS51を変更し、セットされていないセイルの移動を認める。
- 1.6 RRS52を変更し、自動操舵装置(オートヘルム)の使用を認める。
ただし、GPS連動、ウインドベーンモード等の航海計器との連動モードで使用してはならない。
(IRC15.2(d)の例外)
- 1.7 [WorldSailingテストルールDR21-01を適用](#)し、定義「スタート」を下記の通り変更する。
スタート:艇体がスタート・ラインのプレスタート・サイドに完全に入っていて、艇体の一部がスタート・ラインをプレスタート・サイドからコース・サイドに向かって、以下のいずれかのときに横切る場合、艇はスタートするという。
(a) スタート信号時、またはスタート信号後に、または
(b) スタート信号前の最後の1分間の間に
艇が定義『スタート』の (b) 項に従ってスタートした場合、その艇はラインのプレスタート側に戻って定義『スタート』の (a) 項に従うことができる。しかし、そうしなかった場合、その艇は9.1で示すペナルティを受けなければならない。
- 1.8 RRS 60.5(c)を変更し、プロテスト委員会が失格以外のペナルティを科す権限を認める。
- 1.9 沖縄-東海ヨットレース特別規定(添付参照)
- 1.10 規則90.3(e)を適用し、時間は8時間とする。

2. 帆走指示書

帆走指示書は、2026年3月31日以降に本レースWebサイトで入手できる。

3. 参加資格

3.1 参加艇は以下を全て満たしていること。

- a. 自国の協会(WorldSailingMNA、以下ナショナルオーソリティ)へ登録をしている艇
- b. LH10メートル以上のモノハル艇
- c. 船舶検査証書「近海」を有する艇(臨時航行検査証書は不可とし、臨時変更証書「近海への航行区域変更」は可とする。)
- d. 外洋特別規定2026-2027カテゴリー3
- e. 有効なIRC証書を証明できる艇(セカンダリー証書も可とする。)

3.2 艇長は以下を全て満たしていること。

- a. JSAF会員であること。(海外からの参加者は、自国のナショナルオーソリティに加盟していること。)
- b. 200マイル以上の無寄港セーリングまたは150マイル以上のレース(パールレース等)を経験していること。
- c. 自己経歴申告書を提出すること。
- d. 全ての乗員の健康状態を事前に確認していること。

3.3 乗員は以下を全て満たしていること。

- a. JSAFの会員であること。(海外からの参加者は、自国のナショナルオーソリティに加盟していること。)
- b. 乗員の2分の1以上はオーバーナイトのセーリングを経験していること。
- c. 自己経歴申告書を提出すること。

3.4 安全講習会の受講

- a. 乗員の2分の1以上は下記いずれかの安全講習会を2019年4月以降に受講していること。
 - ・ 沖縄-東海ヨットレースの安全講習会
 - ・ WS認定コースサバイバルトレーニングOSR6.02・医療トレーニングOSR6.05
 - ・ 救急救命、ライフラフト展開と乗り込み、火災訓練、落水者救助を含む安全講習会
- b. 2026年4月27日に行われる安全講習会には、艇長を含む3名以上が出席すること。

4. 参加申し込み(必要提出書類および提出期限)

4.1 申し込み期間

- ・ 申し込みは2026年1月30日(金)から3月6日(金)までとする。
参加資格のある艇は、レースホームページ(<https://okinawa.racetosc.jp/>)より『オンラインエントリー』を行うこと。また4.2に記載の書類を期限までにEmailにてレース実行委員会へ提出すること。
- ・ レイトエントリーは2026年3月31日(火)を期限とする。

4.2 提出書類・期限

書類名	提出期限	備考
出艇申告書(乗員登録)(*)	3月31日(火)	
艇長の自己経歴申告書(*)	3月31日(火)	
乗員の自己経歴申告書(*)	3月31日(火)	
ヨット賠償責任保険証書(コピー)	4月11日(土)	
船舶検査証書(コピー)	4月11日(土)	
IRC証書(コピー)(**)	4月11日(土)	
主催者－競技参加者契約書	4月11日(土)	
外洋特別規定申告書	4月11日(土)	モノハル・カテゴリー3
EPIRB識別符号(MMSI)	4月11日(土)	
WorldSailingSailorClassification証書	4月11日(土)	アマチュア賞の艇
外洋加盟団体会員証のコピーまたはJSAF会員証のコピー、会員証がない場合は、会員証明書または会費振込書(コピー)	4月18日(土)	

- ・ 出艇申告書(乗員登録)は、スタート当日09:00まで変更を認める。ただし新たな乗員の場合は自己経歴申告書および外洋加盟団体会員証のコピーまたはJSAF会員証のコピーを同時に提出すること。
- ・ IRC証書の期日以降の変更はレーティングオフィスの都合以外認めない。

5. クラス

IRCクラス

乗員は4名以上であること。

参加艇の数によりグループ分けをすることがある。

6. エントリーフィー

6.1 エントリーフィーは350,000円+IRC証書のクルーナンバー×15,000円とする。

*レイトエントリーは500,000円+IRC証書のクルーナンバー×15,000円

エントリーフィーは参加申込と同時に振り込むこと。

【エントリーフィー振込先】

三菱東京UFJ銀行 大津町支店 普通預金 1486375

ジエツカ イヨウカイ イッパ シカイ ダイゴウ カタカナ オ (カタカナはすべて大文字)

JSAF外洋東海 一般会計 代表 坂谷 定生

6.2 返還

エントリーフィーは返還しない。

7. レース日程

月日	時間	行事・内容
4月25日(土)	13:00～17:00	インスペクション
4月26日(日)	09:00～17:00	インスペクション
4月27日(月)	09:00～12:00	インスペクション
	15:00～16:00	安全講習会・艇長会議
	16:00～18:00	ウェルカムパーティー
4月28日(火)	09:00～17:00	インスペクション(予備日)
4月29日(水)	11:55	スタート予告信号
5月08日(金)	12:00	タイムリミット
未定	未定	表彰式於:ラグナマリーナ

8. コース

沖縄県島尻郡与那原町与那原マリーナ沖 →津堅島ゲート(通過)→
沖永良部島(右に見て回航) →蒲郡市・ラグナマリーナ

9. ペナルティ

- 9.1 OCSに関するペナルティ(DR21-01の適用):スタート信号の直前1分間にコース・サイドにいた場合、またはスタート信号時にコース・サイドにいた場合で、スタート・ラインに戻って正しくスタートし直さなかった艇は、失格とはならず、所要時間に2時間のペナルティを加算する。
- 9.2 ペナルティは、帆走指示書で規定されるペナルティ時間を「フィニッシュ時刻－スタート時刻」に加算して所要時間とする。
- 9.3 その他のペナルティも帆走指示書にて規定する。

10. 通信

- 10.1 ロールコール:衛星通信等を使用して行い、義務とする。
- 10.2 その他の通信(RRS41の変更):レース中、艇は公開されているインターネット情報(有料の気象・海象情報、クラウドベースのルーティングサービスを含む)を取得することができる。ただし、特定の艇のためにカスタマイズされた私的な気象予報や戦術的アドバイス(陸上のルーター等からの指示)を受けることは禁止する。

11. 自動位置通知装置

自動位置通知装置を装備し、作動させること。装置はレース委員会が貸与する。
抗議の制限(RRS 60.1の変更): 艇は、本項(自動位置通知装置)に関する違反について、他艇を抗議することはできない。

12. 責任の否認

このレースの参加者は自身の責任でレースに参加すること。RRS3「レースすることの責任」参照。主催団体は、レースの前後、期間中に生じた物理的損害または身体的障害もしくは死亡に対していかなる責任も負わない。

13. 賞

-
- 13.1 ラインオーナー賞:所要時間の最も短い艇
(所要時間=ペナルティを加算した時間)
 - 13.2 総合:優勝、準優勝、第三位(艇数により削減することがある。)
 - 13.3 アマチュア賞:「WorldSailing Sailor Classification Code」(WorldSailingセーラー分類規定)のグループ3に分類される乗員が乗っていない艇のうち最上位の艇。*この賞を得ようとする艇は、全乗員の証書を提出すること。

14. 保険

レース期間中有効なヨット保険(賠償責任保険、搭乗者傷害保険、搜索救助費用保険)に加入していること。

15. インспекション

-
- 15.1 インспекションを与那原マリーナにて行う。
日程は本公示7.「レース日程」による。
 - 15.2 不合格となった艇は再検査を受けることができる。(回数、締切時間は安全委員長の裁量による。)
 - 15.3 フィニッシュした艇にフィニッシュ直後実施する場合がある。
 - 15.4 艇長若しくは責任者は必ずインспекションに立ち会うこと。
 - 15.5 艇別に安全セミナーを行う。多くのクルーの参加を願う。

16. 問い合わせ

レースホームページ又はJSAF外洋東海ホームページの、問い合わせコーナーからすること。

JSAF外洋東海事務局

〒460-0002名古屋市中区丸の内3-21-21丸の内東桜ビル902号

Tel:052-971-5835

1. 下記を装備すること

- ・ビルジポンプ:2台の手動ビルジポンプ。1台はデッキ上、もう1台はデッキ下で操作できること。
- ・ライフブイ:ライフポール(ポールと旗)
- ・信号炎:近海セットに加えてパラシュートフレア4本
- ・衛星携帯電話:外部アンテナを設置すること。
- ・国際VHF無線機:25W以上
- ・AISトランスポンダー:レース期間中常に作動させ、データの送受信ができる状態にしておくこと。
送信間隔を意図的に遅延させてはならない。*抗議の制限(RRS 60.1の変更): 艇は、本項(AISの作動義務)に関する違反について、他艇を抗議することはできない。
- ・セイル枚数制限:予備のメインセイルを使用することができる。
予備メインセイルの使用は、メインセイルが重大な損傷を受けた場合のみに限る。予備メインセイルを使用した場合、フィニッシュ後レース委員会に報告しなければならない。(これはIRCルールを変更している。)
- ・スピナーカー・ヘッドセイル搭載制限:証書記載枚数プラス1枚積むことができる。(日本セーリング連盟IRC規定の適用)
- ・ストームジブの搭載:OSR適合
- ・ライフラフト:乗員の100%、近海仕様
- ・406MHz衛星EPIRB

2. 広報活動への協力

- ・参加するチームのオーナー、クルーおよび当レース関連行事に参加する関係者は、当実行委員会が撮影、記述、編集、制作あるいはチーム関係者から提供を受けた情報を、当レースに関連するチラシ、ポスター等の印刷物および公式ホームページ、公式Facebookページに公表することに同意するものとする。
- ・参加チームは、実行委員会の求める参加艇・チームに関する情報(画像、記事等)を、実行委員会が求める期限迄に提出すること。
- ・抗議の制限(RRS 60.1の変更): 艇は、本項(広告表示および乗員のメディア活動)に関する違反について、他艇を抗議することはできない。